2025 年 5 月

鶴岡市教育委員会様

斎藤コロタイプ印刷株式会社
代表取締役　齋 藤　裕 子

個人情報漏洩のおそれに関するお詫びとお知らせ

謹啓　皆様におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

改めまして、ランサムウェアの攻撃に伴い、多大なるご迷惑とご心配をお掛け致しておりますこと、誠に申し訳ございません。

また、対象となった２０２３年度卒業アルバムの翌年度（２０２４年度）の卒業アルバム制作作業を安全な環境で進めるための対応と、その納期を厳守するための措置を優先させてしまったことにより、ご報告が遅れてしまいましたこと、重ねてお詫び申し上げます。

今後は、このような事態が繰り返すことの無いよう常に迅速な状況説明と対応に努めて参る所存です。

弊社での不正アクセス騒動後において現状での被害状況及び不正アクセス原因と

今後の対策についてご報告させて頂ければと思います。

敬白

■その後の被害報告状況について

5 月●●日現在において漏洩の被害報告はございません。

■原因とされる不正アクセスと環境について

デジタル鑑識調査（デジタルフォレンジック調査）により、第三者が VPN 接続機器を経由し不正アクセスをしたためと判明致しました。

※ｅメールやインターネット接続を伴う業務を主とした「業務系ネットワーク」上にある工場外部からの接続について認証し、暗号化通信を実施するための装置において、その接続パスワードが何らかの原因で漏洩し不正利用されたか、または機器の脆弱性を衝いて不正侵入された後、共用しているログオン認証サーバ内のユーザー情報からアルバム制作業務を行う「制作系ネットワーク」へも不正侵入されたかのいずれかが原因と報告を受けました。

■「ランサムウェア」による暗号化被害発生後の対策について

弊社では、従前より個人情報保護に係る規程等を整備しＰマークを取得した上で、個人情報の安全な運用を心がけており、ウィルス対策ソフトの導入やUTM機器（統合型脅威管理機器）の導入により不正侵入検知等の機能を実装しておりましたが、改めて以下の再発防止策を実施し強化いたしました。

・認証パスワードをより複雑な条件に変更し全ユーザーにおいて変更を行いました。
・UTM機器（統合型脅威管理機器）不正侵入検知の脆弱性対策を実施致しました。
・UTM機器（統合型脅威管理機器）のアクセスログについて、外部への保存体制を構築致しました。（クラウドサービスを利用）
・原因となりました業務系ネットワークに対するVPN接続設定を廃止致しました。
・制作系ネットワークにて進めているリモート環境に付きましてはVPN接続に２要素認証を適用致しました。
・接続回線のグローバルIPアドレスの変更を行いました。
・PMS 規定の年次社内教育において、本事案を受け教育内容を改めて刷新し鋭意社員教育の徹底に努めてまいります。

■今後の個人情報漏洩が疑われる事象発生時の対応について

今回の事案から得られた反省と教訓を踏まえ、今後、万が一にも個人情報漏洩が疑われる事象が発生した場合には、被害の有無にかかわらず、また不確定な情報を含む疑いの段階であっても、速やかに弊社のPMS（個人情報保護マネジメントシステム）個人情報保護基本規程に基づき、関係機関と貴教育委員会へ状況を速報いたします。(概ね3日～5日以内)その後、判明した詳細な情報についても、逐次ご報告させていただきます。

事象の詳細が判明した際には情報主体様への通知を迅速に行うため教育委員会や関連機関への報告と協力を要請致します。

弊社個人情報保護基本規程に定めた関係機関

・委託元（写真館様、撮影業者様及び、その委託元となる学校様）
・個人情報保護委員会
・一般社団法人 日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)
・一般社団法人 日本印刷産業連合会
・犯罪によることが推定できる場合、管轄警察署
・ウィルスによることが推定できる場合、独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)

当社では今回の不正アクセス被害の教訓を生かし皆様方に更に安心して頂けるセキュリティー対策と運用を目指し業務に邁進して参ります。今後とも信頼される企業を目指し社員一同努力していくつもりでございます。何卒、宜しくお願い申し上げます。